

2月3日の節分会では、保育園のどこかに隠れている鬼を探し、鬼が出すなぞなぞやじゃんけんに答えるミッションゲームを異年齢チームで楽しみました。

今年度も残り1か月となりました。進級や就学に向けての意識も芽生え、自分でできることは自分でやる！と成長した姿が見られるようになっていきます。

2月

## もも組、ひじ組（3歳児）

次年度はあか組になるということで、登園時や降園時にカバンや水筒をおうちの方に持ってもらうのではなく、自分で持つことを意識することを始めました。保育士に「今日自分で持ってきたよ！」と自慢げに伝えてくれ、日々お兄さんお姉さんに向かってまっしぐらです。玩具の貸し借りでは、時計の針を見て、「3になったら貸してあげるね」などとやりとりもできるようになりました。



## あか組（4歳児）

あお組が小学校に行くことを知り、お別れ会を計画中のあか組。話し合いをすると、今まで優しくしてくれ、たくさん遊んでくれたあお組にありがとうを伝えるためにプレゼントを渡したい、歌を歌いたい、できるようになったことを見せたいなどと色々な意見が出ました。素敵な会になりそうです。

また、あお組のかっこいい姿に影響され、リレーも楽しんでいきます。



## あお組（5歳児）

保育園生活もあと少し。小学校に行くことに対して、期待でワクワクした気持ちもあり、少し不安な気持ちもあるあお組。最近、事務室に入る時に大きな声で「失礼します！」と言ったり、ハンカチを持ち歩いたり少しずつ小学生のような様子が見られるようになりました。

また、缶蹴りをしたり、園長先生とコマ回し対決をしたりしてみんなで遊ぶ時間を大切に過ごしています。卒園までの日々、たくさんの楽しい思い出を作っていきたいです。

